

## TTC DSL 専門委員会スペクトル管理サブワーキンググループ

---

日付：2004年8月19日

提出元：イー・アクセス株式会社<sup>1</sup>

題名：線路モデル等について

---

「線路モデル等」に関する課題について、以下のとおり、弊社の考え方を述べる。

#### 1. マルチゲージについて

フィールドへの運用を勘案すると、現行のNTT東西の線路情報開示データベースについて大幅な改修は避けられず、改修が可能であったとしても、各事業者のサービスの収容の運用に対する負荷は非常に大きいと考える。

計算方法も複雑になるため、メリットを明確にする必要があり、特に前提として、フィールド運用の可否についての判断を行うことが必要である。

#### 2.ブリッジタップについて

ブリッジタップは、実際の線路上ではその位置等により影響の大きさが異なるため、計算で求められる理論値と実態上での影響とで乖離が出ると考えられる。

また、計算方法も複雑になるため、メリットを明確にする必要があり、特に前提として、フィールド運用の可否についての判断を行うことが必要である。

本寄書に関連する課題番号	C . 4 . 7 . 1 、 C . 4 . 7 . 2
--------------	-------------------------------

以上

---

<sup>1</sup> イー・アクセス株式会社  
渡辺 芳治 南 健太郎 大橋 功